

## 第4回 富津公園における「整備等の基本的な考え方」検討会議

### 議事要旨

#### 1. 開催日時場所

日 時：令和5年3月17日（金曜日）午後1時30分から午後2時30分

会 場：千葉県教育会館 6階 604会議室

#### 2. 出席委員

阿部伸太委員、関寛之委員、嶋田清一委員、義崎哲也委員、粕谷達郎委員、椎名誠委員  
松本孝委員、相澤修一委員（代理 影山博史委員）、斎藤和義委員（代理 岩崎美貴委員）、  
堀口正昭委員（代理 宮川治郎委員）、前田尚志委員（代理 屋宜哲也委員）  
井上宣之委員、田村英記委員（代理 松澤好晃委員）

#### 3. 傍聴者

2名

#### 4. 議事

##### （1）報告事項

事務局 別添資料1～3にて、第1回から第3回までの検討会議の振り返り、1月の各委員への意見照会の結果、パブリックコメントで出た意見について説明。

##### （2）審議事項

事務局 最初に、出席できなかった委員の意見を紹介させていただく。

「アクティビティの創出や飲食店の出店、ウェルネスな視点での公園整備についての基本的な方向性については問題ないと考えている。ただし、岬先端のマリンレジャーの取扱い、車とマラソンと歩行者の棲み分け、歩車道の整備、照明、駐車場の確保が問題である。まず、車と歩行者の利用については、岬の先端まで小型のモビリティ、ランニング、バス、自動車の組み合わせを考えていく必要があると考えている。夏場のプールの開園期の駐車場の確保が問題である。現在の駐車場に、公園施設が整備された場合、現状よりもさらに多くの来客が見込まれるため公園外の駐車場の確保も必要になってくる。駐車場を有料化することで駐車場の利用者を減らすことも検討すべきである。ジェットスキーの利用については、現状ではルール・規制がないため先端まで直接アクセスして無料で利用している状況である。公園への入場規制が可能か検討する必要がある。例えば、入場規制して、駐車場を有料化する代わりに、コインシャワー等を整備し、サービス向上を図る。ただし、駐車場の有料化は、公園周辺の市街地での違反駐車につながるため時間制を導入することも必要である。アクティビティについて、富津公園の景観や根幹にある健康や癒しを基本としたウェルネスをテーマにしたものと親和性が高いと考え、自然環境にとっても住む人にとっても持続可能性が重要である。そういった場合、何もない芝生広場での様々なアクティビティができるという意味でも重要であると考えている。周辺環境に配慮したライトの設置や期間限定のイルミネーションなども誘客のためのイベントとして非常に重要であると考えている。」

以上が委員の意見である。

委員 基本方針案については、本会議に配慮いただいてよくまとまっている。今回は基本方針なので、具体的な取組みは並列で記載されている。実際は、整備の優先順位、時間軸、そういったフェーズに入ることを期待している。ウェルネス、ランニングコースの整備は他の公園と差別化できる最大のコンテンツなので、優先的に整備を検討してはどうか。将来的には大学・高校の駅伝または陸上部等の合宿を取り込めれば。実際、近隣に年間20チーム以上合宿で利用されている有名な宿泊施設もある。この宿泊施設のHPでは有名なマラソン選手とも懇意にしていることがわかる。そういった宿泊施設と連携しながらニーズを十分に汲み取って整備することは、差別化に繋がると考える。実際にランニングコースを整備する際には、マーケティング調査をした方がよいと考える。事例では、廃校となった銚子西高校をスポーツ合宿施設にイノベーションしている例がある。整備にあたって、関東の大学・高校野球部を対象にアンケート調査したところ、是非検討したいという回答が8割あった。アンケートの自由意見として、都内の高校ではグラウンドが狭くて練習できる場所の確保に苦労している、東北の高校では冬場は雪で練習ができないなどの意見が多く聞かれ、利用単価、利用の条件をアンケートで把握の上で、整備、事業化に踏み切って相応の宿泊需要を取込めたと考える。(宿泊需要の取り込みは)富津公園においての今後の検討課題と考える。

委員 長期滞在できるような場所はこのエリアは少なかったと思うので、全体的にこうした空間ができればいいと思う。何回でも行きたくなるような仕掛けや、夜遅くまで滞在したくなるような仕掛けができれば、この地域全体の発展に大きく貢献できると思いますし、そういった基本方針になっていると思う。

委員 国定公園第一種特別地域で、特異な景観を有している。眺望を活かすことができれば良いのではないか。国定公園第一種特別地域なのでそこは配慮して整備してもらえればと考える。

会長 法規制や種別の関係でやれることやれないことを踏まえて、今後検討していく必要がある。

委員 他の保安林でも遊歩道を作っているが活用を考えて作ったものではない。活用を含めたものとして考えていければと思う。

会長 保安林の機能、やれるべきところ、機能、意味を持っていることを実感できることも大事である。

委員 パブコメに書かれているジェットスキーのできる海岸ではいろいろな問題も出ている。漁業のところに入っての人身事故、音の問題、南房総市の市町村から要望ももらっている。富津岬でジェットスキーを利用する際は一緒に使う人や地元の方に配慮した使い方・整備を検討していただければと思う。整備にかかる時間軸も重要と考える。有効なコンテンツを短期間で整備する、やれるところから順次行い、どんどん人を取込んでいただきたいと思う。

会長 多くの人が楽しめるジェットスキーを始めとするアクティビティを十分に検討していく余地がある。一方でそれによる騒音、安全上の問題についてのルール化も大事。ジェットスキーとの折り合い、集落との折り合いをどうするか。それから時間軸については、やれるところからやっていく、ステー징プランも大事なと思う。

委員 基本方針は了解だが、マリンスポーツについて、公園の通年型のアクティビティとして、必要という意見に賛成であるが、近くに漁港もあり夏場の観光の協議会もあり、マリンスポーツの事故、トラブルが毎年発生しているので、議論を踏まえて記載した方がいい。なかなかルールが守られていないところもある。是非、地元の海岸利用のルールを尊重しつつ、利用していければ。

会長 公園はレクリエーションが中心になりがちであるが、一方で、特にここの海は生業の場でもあるので、生活を脅かすようなことがあってはならない。うまく理解していきながら、進めていく必要がある。うまく計画に盛り込んでいければと思う。

委員 基本方針案はよいものと判断する。次回の話になるが、できれば防災、津波の対応を検討していただければと思う。

会長 公園本来の機能として防災は大事であり、特に海に面している敷地の中での対応や周辺の受け皿になることもある。防災的な視点は必要であると思う。

委員 パブコメは、概ね基本方針案に反映されていると考える。賑わいの創出というところで、地元の農産物の物販、休憩、飲食の施設を整備することによって、長時間滞在していただき、帰宅時間をずらすことによって、アクアラインの渋滞解消にすこしでも貢献できるのではないかと考える。水上バイクの話があったが夏場の公園内の先端の駐車場のキャパシティ不足を感じており、駐車場をもう少し広くできたらいいと考える。水上バイクのルールづくり、ローカルルールはあるが、漁業

者の方に迷惑をかけているケースもある。昨年、水上バイクの事故も発生している。ルールづくりは必要と考える。

会 長 飲食休憩施設により、アクアラインの渋滞解消に貢献できるのではないかと。資料4を改めてみると指定管理料が20年間で32億円かかるという記載があるが、飲食店の収益性を高めることによって負担軽減につながると思うので、飲食施設は必要だと思う。パーキングも必要だという意見があったが、年間を通じて利用客数の推移に対してどこまでできるかを検討しなくてはならない。空間の機能の重層性を考慮の上、車両が増えたらパーキング、減ったら違う用途に使うなど、今後の事業者提案に期待しつつ、検討はしていただきたい。

委 員 バブコメの方で、交通インフラの公園内の移動について、バスは公園の入口まで来ているが先端の岬まで行っていない。どうやった移動手段で人を動かせるか、観光ガイドツアーを組んで客を乗せて移動とか、そういったものも考えられる。富津公園は広いので、一度に整備するのか、優先順位つけてそこからやるのか、例えば、展望施設だけ宿泊施設だけとか、そういった優先順位を考えてもらえればと思う。

会 長 優先順位については、当然検討していく必要がある。園内移動はいろいろなツールがでているので、巡回バスや巡回システムを含めて、魅力的になっていく1つのポイントになる。

委 員 基本方針は、ほとんど文句を言うところはないかと思う。賑わいの創出・アクティビティについては、富津には宿泊施設、特に大きなホテルがない。そのため人が寄りつかない状況である。整備の優先順位として、遊べる施設や宿泊できる施設を早い時点で整備できないか。駅伝、ランニングについても、民宿3、4か所に対応している状況であるが、ランニング等を狙いとするのであれば、既存民宿を踏まえた中で宿泊施設を考えていただけではないか。

会 長 宿泊することによって、夜の美しさ、明け方、夕暮れ時を存分に楽しみ、その景色を楽しみながら食事をする、そういったことから収益性もでる。福岡の海の中道海浜公園にザ・ルイガンズというホテルがある。海岸から福岡の夜景を眺めることができ参考になる。

委 員 盛りだくさんになっているのかなと思うので、どこから手をつけていくかが一番大事。全方位的にやっていると、話もまとまらず時間もお金もかかる。観光の分野でいくと、きれいな自然を守るためにもお金がかかる。県がお金を払い続けるのは難しいので、民間が施設を作って資金を捻出し、お金をしっかりもらえる設備がないと難しいのではないかと考える。マラソンの話で言うと、菅平のように聖地になればいいが、特定の施設に特化していくのか、それともマラソンだけでなくその他のアクティビティもバランス良くつくっていくのか。整備の順番を含めこの後が大事なかなと思う。

会 長 基本方針は盛りだくさんだと思うが、これだけ広げておかないと、今までの概念だけで事業者提案されてしまう。多くの県民に楽しんでもらう必要があり、ここならではのテーマ性を持って風呂敷を広げておく。自然を守るためにはお金がかかるのは当然のことであり、日比谷公園なんかも西洋の食事ができたり、音楽が聴いたりできる仕掛けを作り収益をあげていた。そういった仕掛けを改めて考えることも必要である。スポーツについては、排他的になってはいけないと、多くの人が参入できるようにしておくことも一方では必要である。

委 員 富津の公園は、白砂青松といって全国で百選に選ばれている。白砂、松林だった場所から公園が始まった。今はそういった公園らしいところがなくなってしまっているの、元の状態に戻るといいのではないかと。草をきれいにして、歩いて海が見える公園にしてもらって、500mくらいのところをカモの飛来地になるような渡り鳥がくる、地元の人が遊びにくる、元々の公園にしてもらえればと思う。今は手に負えない草木が生えてしまって公園という感じではない。千葉県民の人がゆっくり食事してもらったり、船を眺めたりするような公園になってもらえればと思っている。レストランとかは後にして、富津公園に行けば、東京、横浜、ベイブリッジが見えたりする、憩える場所に手掛けてもらえればと思う。ジェットスキーは、ルールを逸脱している事例もあるが、楽しんでもらうことも大事。まずは、白砂青松の百選に選ばれているのであるから、そこから手掛けてほしい。

会 長 ジェットスキーは海を楽しむということではいいが、ルールづくりが大事。自然そのものを楽しむために、保安林、砂浜、富士山が見える自然を痛めつけない遊歩道や視点場づくりや眺望は、向こうの風景だけではなくその場を堪能する場づくりが大事である。例えば、三保の松原みたいな風景も参考になるのではないかと。私がフランスに行ったときは波の音を聞くだけで2、3時間滞在で

きたが、そういう心地よさも大事である。

委員 利用者の観点からは、県立公園なので富津市民が楽しめることが前提と考える。また、併せて他地域から人を呼んで賑わい創出していこうといった場合には、地域ごとの競争・競合が激しくなっているので、地元としてはできることからまずは着手することが重要な視点になる。キーワードとしてウェルネスがある。富津にすれば健康になれる、そういう公園ができれば差別化になる。基本方針のテーマにあるように、海と緑の魅力が大きなキーワードになっている。マリンスポーツについては、まずは漁協とも話し合い、ローカルルールをしっかりと作ってローカルルールの範囲の中で楽しんでいただく仕組みづくりが求められる。マラソンコースは、一部保安林の中を走ることができれば、マイナスイオンの中で走ることができるし、海岸線を眺めながら走ることができることは、他にない魅力になると思う。海と緑の両方が楽しめるマラソンコース、メッカという本格的なコースが出来れば話題にもなる。マーケティング調査を行い、マラソンをやっている人がひざを痛めない道路材、1周の距離、楽しめる景観、コースの途中にあったらいい施設など利用者のニーズに沿って整備できれば良いのではないかと。ポテンシャルはあると思うので、速やかに着手できれば良いと思う。

以上